

全店

## 標 題 3S-G Eエンジン エンジンコンピュータ単体点検要領訂正のお知らせ

'97年9月より下記車両に搭載されている3S-G Eエンジンの点火信号系及び回転信号系のオシロスコープ波形に記載洩れ、誤りがありましたので訂正します。

また、アルテツァにつきましてはターミナルNo.に誤りがありましたので併せて訂正します。

資料名	品番	発行年月	ページ数
カルディナ修理書	62858	1997年 9月	3-32
セリカ修理書/追補版	62864	1997年12月	2-27
MR2修理書/追補版	62862	1997年12月	1-33
RAV4修理書/追補版	62959	1998年 8月	EN-19
アルテツァ修理書	62191	1998年10月	EN-26

## 訂正後)

## 単体点検

## エンジンコントロールコンピュータ

## (a) 端子電圧点検

(1) トヨタエレクトリカルテスターとテストリードセットを使用して、各端子間の電圧を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

## &lt;注意&gt;

- ・コネクタはコンピュータに接続した状態で、コネクタの裏側から点検する。
- ・測定前に電源点検（イグニッション ON時10～14V）およびアース点検（イグニッション OFF時各アース端子 ⇄ エンジン、ボデー間5Ω以下）を実施する。
- ・オシロスコープを使用して、各端子間でパルスが発生していることを確認する。

## カルディナ・セリカ・MR2・RAV4

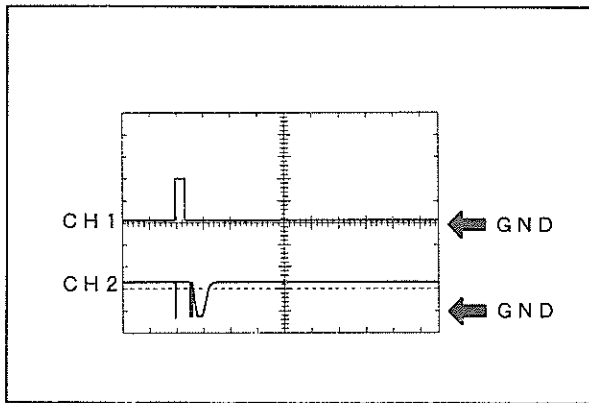
点検系統	測定端子（ターミナルNo.）	入出力	測定条件	基準値 [V]
点火信号系	ION1 (B 9) ⇄ E1 (B17)	入力	暖気後、アイドル回転時	波形1
	ION2 (B10) ⇄ E1 (B17)			
	ION3 (B19) ⇄ E1 (B17)			
	ION4 (B20) ⇄ E1 (B17)			
回転信号系	G2+ (B15) ⇄ NE- (B24)	入力	暖気後、アイドル回転時	波形2
	NE+ (B16) ⇄ NE- (B24)			

アルテツァ

点検系統	測定端子 (ターミナルNo.)	入出力	測定条件	基準値 [V]
点火信号系	ION1 (B 9) ⇔ E1 (B 17)	入力	暖気後、アイドル回転時	波形 1
	ION2 (B 10) ⇔ E1 (B 17)			
	ION3 (B 11) ⇔ E1 (B 17)			
	ION4 (B 12) ⇔ E1 (B 17)			
回転信号系	GEX (B 14) ⇔ NE- (B 24)	入力	暖気後、アイドル回転時	波形 2
	G2+ (B 15) ⇔ NE- (B 24)			
	NE+ (B 16) ⇔ NE- (B 24)			

(b) オシロスコープ波形

計器 オシロスコープ [20501]



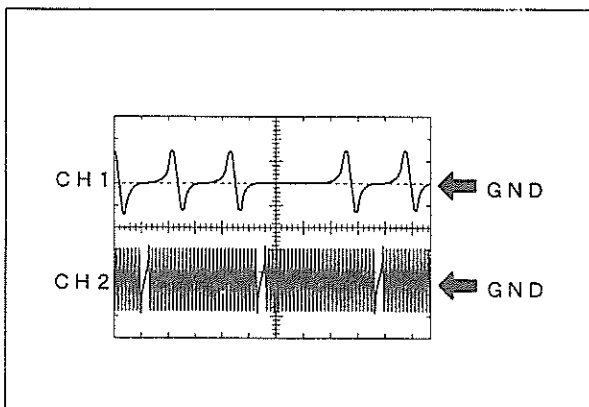
(1) 波形 1

<参考>

- ・ 測定端子 CH1: IGT1、IGT2  
IGT3、IGT4⇔E1
- ・ 測定端子 CH2: ION1、ION2  
ION3、ION4⇔E1
- ・ 計器セット 2V/DIV、10ms/DIV  
ION3、ION4⇔E1
- ・ 測定条件 暖気後、アイドル回転時

<注意>

エンジン回転数が高くなるにつれ、波形周期は短くなる。



(2) 波形 2

<参考>

- ・ 測定端子 CH1: G2+, GXE(アルテツァ)⇔NE-
- ・ 測定端子 CH2: NE+⇔NE-
- ・ 計器セット 2V/DIV、20mm/DIV
- ・ 測定条件 暖気後、アイドル回転時

<注意>

エンジン回転数が高くなるにつれ

- ・ 各波形振幅は大きくなる。
- ・ 各波形周期は短くなる。

担当: サービス部 第1技術室

五味(05617-4-4622)